

## 2006 年度第 2 回 L - ラーニング学習支援システム研究分科会記録 (案)

日時：2006 年 8 月 30 日 (水) 11:00-18:30

場所：東京歯科大学 (千葉キャンパス・稲毛)

出席者：阿部 (東京歯科大学) 金子 (早稲田大学) 佐藤 (駒沢大学) 田代 (日本女子大学)  
高野、豊田、守重 (オブザーバー) 小田切 (麻布大学：記録)

### 1 事務連絡

新会員の守重氏を加え自己紹介

### 2 問題形式の検討

#### (1) 試作 RPG の評価と分析

各自が試作した RPG について説明を行い、どのような構成で作成するかについて検討を行った。その結果、統一したスタイルへ集約し RPG 型問題作成のフレームワークを作り上げることは困難であるとの見解に達した。

#### (2) 今後の方向性の検討

RPG による問題作成は一時保留とし、RPG にこだわらない新しい問題作成方法を検討し、引き続き「レファレンス」に限定し以下の構成で構築することとした。

##### a) 基礎編

**Step1：略語隠語タイトル**：利用者が口頭で尋ねる参考図書名を理解できるか

<例> ビーエイ BA:Biological Abstract

**Step2：自館 OPAC**：自館 OPAC を完全に使いこなせているか

<例> 全文検索 (中間一致 / 部分一致) は可能ですか

**Step3：参考図書の使い方**

・この資料で ×× について調べるといふ演習型問題

**Step4：引用文献の読み方**：引用文献やデータベースの出力結果の見方がわかるか

**Step5：粗調べ**：事柄の概略を把握するためのツールの使い方を身につける演習

・見出し語になっている項目と、索引にしかあたらないケース、関係する見出しをあたるケースなど、参考図書を使いこなすトレーニングにする

##### b) 応用編

###### ツール選択問題

- ・調査事項に対して、利用可能なツールを選択させる問題形式とする
- ・この問題では、複数の正解を許す。

###### ツール一覧 (あるいはデータベース) の作成

- ・選択肢になったツールを一覧できるページを用意する。選択肢の解説は、こ

のページを経て NDL 等が提供する参考図書解題ページへリンクさせる。

- ・ このツールから、問題の逆引きも出来るようにする
- ・ データベース化も検討する

### (3) 具体的作業方法

いずれも L-Learning ページの XOOPS の機能を利用して進めていく

#### a) 基礎編

- ・ フォーラムモジュールを利用する。フォーラム名：基礎編
- ・ 1スレッドを 1Step として、高野氏のベースに追加していく

#### b) 応用編

##### 問題作成

- ・ フォーラムモジュールを利用する。フォーラム名：当面 RPG テストをそのまま利用し、1スレッド1問で構成する。
- ・ 問題と解答の出ているツールをあげる。別のツールで確認した場合は、確認できたツールだけでなく、出来なかったツールもスレッドとして追加していく
- ・ スレッドのタイトルは調査事項（問題名）とする
- ・ 調査できたとき＝ 選択肢、調査できなかったとき＝×選択肢 と記述する
- ・ 選択肢の解説文は、書誌事項＋解題のページ URL を記述する

##### ツール一覧

- ・ リンク集に「参考図書解題」のカテゴリーを設けて登録する。

### 4) 次回例会までの作業課題

#### 基礎編

- ・ 高野氏の作成したベースへの事例追加：全員（ノルマ無し）

#### 応用編

- ・ 問題作成： 全員（5問作成）
- ・ 他の会員が作成した問題の確認と選択肢追加：全員

## 3 図書館見学

東京歯科大学図書館及び史料室の見学を行った。

## 4 その他

### 次回例会

次回例会は、11月10日（金）と17日（金）を候補として調整する。会場は麻布大学を予定。